

令和4年10月23日

各区担当理事の皆様

事務局 央戸幸雄

秋季大会6目(10月29日(土))の組合せです。
各団に連絡願います。

スポ少本部へ
ホームページへの登載お願いいたします。

令和4年度 仙台市スポーツ少年団 第33回 秋季・新人野球交流大会 大会要項

- 1:趣 旨 仙台市スポーツ少年団(野球)が一堂に会し、日頃の活動の成果を示し、団員相互の交流
- 2:主 催 仙台市スポーツ少年団
- 3:主 管 仙台市スポーツ少年団野球部会
- 4:後 援 仙台市野球協会
- 5:協 賛 ㈱NIKKAメモリーアート アクティースポーツ ナガセケンコー(株)
- 6:試合期日 秋季大会:令和4年9月10日(土)・17日(土)・25日(日)・10月10日(月)・15日(土)・22日(土)・29日(土)
新人大会:令和4年10月1日(土)・8日(土)・11月5日(土)・12日(土)・23日(木)・26日(土)・27日(日)
(ただし学校行事などのための調整日に土・日曜日を使用いたしますので了承ください。)
- 7:開会式 開会式はおこないません。
- 8:参加資格 (1)参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし 仙台市内小中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は 役員会協議し参加資格を認める。
(2)指導者及び選手はスポーツ保険に加入していること、又は、同等の保険に加入していること。
(3)リトルリーグに登録している者は参加を認めません。
(4)新人戦については、本部登録をされていなくても出場を認める。
(5) 合同チームのユニフォームは、それぞれのチームのユニフォーム着用を認める。ただし、背番号は統一した番号とする。
- 9:その他 (1)大会要項及び大会規則による。
(2)雨天等で開催が危ぶまれるような場合は、試合会場担当責任者(部会役員)に各団の連絡責任者より確認の電話をお願いします。(第2日目以降の試合グラウンド等も)
(3)試合会場集合時間は試合該当団及び審判担当者とも試合開始予定時刻30分前に致します。(但し、第1日目の第1試合を除く)
(4)ボールボーイは試合該当団より3名(うち1名は外野)をお願い致します。
(5)試合終了後のグラウンド整備は試合終了該当団2団で行って下さい。
(6)事故等が発生した場合は、速やかに試合会場責任者(部会役員)に報告して下さい。
(7)ゴミ・たばこの吸殻等は各団でお持ち帰り下さい。
(8) 胸部保護パッドの使用について
低学年の選手が高学年の選手と対戦する場合、体力面。技術名において差が出るため、事故防止の観点から胸部保護パッドを使用するのが望ましい。
(9)その他ご不明等がある場合には部会事務局長(穴戸 幸雄)まで、電話にてお問い合わせ確認して下さい。(携帯090-9031-0225)

国見リトルベアーズスポーツ少年団

☐は、グランド担当団となります。ご協力お願いいたします。

は、仙台市学童大会参加チーム

令和4年度仙台市スポーツ少年団第33回秋季野球交流大会
6日目(10月29日(土))組合せ

試合会場及び担当団・連絡責任者

	試合数	使用グラウンド	グラウンド担当団	G責任者	電話番号
	3	評定河原公園野球場	富沢小少年野球クラブ	畑山作栄	080-2999-1838

各ブロック試合開始時間予定

	試合数	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
	3	8:30~10:00	10:30~12:00	12:30~14:00	

審判について

第一試合は本部より派遣のゴールド審判と当初グラウンド担当団3名

第二試合以降は、前の試合の勝者が主審と2塁、敗者が1・3塁の審判となります。

グラウンド担当団

グラウンド担当団は、ネット担当者と事前に連絡を取り、ネットの引き渡しを受けて使用してください。

大き目のハンマーを準備してください。

	試合数	使用グラウンド	ネット持参者	ネット回収者	電話番号
	3	評定河原公園野球場	小林孝夫	小林孝夫	090-4559-1623

当日、若干の変更があるかもしれません

仙台市スポーツ少年団野球部会
春季・秋季・新人 交流大会登録票

登録団名		スポーツ少年団			
団代表者		氏 名		電話番号	
				携帯電話	
		住 所	〒 —		
連絡責任者		氏 名		電話番号	
				携帯電話	
		住 所	〒 —		
監 督	30		指導者番号	04N-K	
コーチ	29		指導者番号	04N-K	
コーチ	28		指導者番号	04N-K	
スコアラー					

[illegible]

注) ①春季・秋季大会はスポーツ少年団の本部登録を済ませた選手で、ベンチ入りする20名を記載のこと。
②本紙は試合前に各グラウンドのグラウンド担当団に提出すること。変更ある場合はその都度提出すること。

仙台市スポーツ少年団野球部会
春季・秋季・新人 交流大会登録票(続)

登録団名	スポーツ少年団			
連絡責任者	氏 名		電話番号	
			携帯電話	
	住 所	〒 ー		

[illegible]

注) ①春季・秋季大会はスポーツ少年団の本部登録を済ませた選手全員の氏名を記載のこと。
②本紙は試合前に各グラウンドのグラウンド担当団に提出すること。

仙台市スポーツ少年団 野球交流大会規則

- 1 参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし、仙台市内の小・中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会にて協議し参加資格を認める。なお、新人戦においては、団員は本部登録がされていなくとも、参加する事が出来る。
- 2 編成選手は野球部会所定の団員登録用紙に試合の都度提出する事とする。
- 3 登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。ただし、他のチームからきた選手は、前のチームの試合に参加できない。
- 4 試合は6回戦とし（新人戦は5回戦とする。）、尚且つ90分（新人戦は70分とする。）の時制限を設定し、3回以降10点差の場合コールドゲームとする。
6回（新人戦は5回）終了後同点の場合、または試合開始後90分（新人戦は70分。）経過同点の場合は、特別延長（ノーアウト満塁）を2回まで行い同点の場合は終了時のメンバーにて抽選で勝敗を決める
- 5 試合開始時刻30分前には、必ず試合会場に到着し、本部で先発メンバー表の提出（4部提出。放送設備のある場合は5部提出。）をして先攻、後攻を決め、試合に備えて待機する。（但し、開会式実施第1試合該当団は、例外とする。）
- 6 試合開始予定時刻になっても試合会場に来ないチームは棄権とみなし、相手チームの勝ちとする。
- 7 ボールボーイは、試合該当団より各3名とし、うち1名は外野に配置する（雨天の場合は大人
- 8 投手の投球数制限は設けず、1日投球イニング数を最大12イニングとする。（特別延長戦も含む。）
- 9 春季野球交流大会の成績上位チームが、県大会を棄権した場合は、野球部会が主催する次年度の春季野球交流大会への参加を認めない。
但し、学校行事等の場合については、その都度協議することとする。
- 10 本規則にない事項については、全日本軟式野球連盟野球規則および学童の部の規則に行う。

大会審判の取り組みについて

各種大会の審判については、毎年大会終了後各チーム関係者より、ジャッジに対するクレームが多く審判の技術向上が叫ばれております。一昨年より、仙台市野球協会のゴールド及びシルバーの審判員に出来るだけ審判をお願いしております。

また、今まで控え審判としてお願いをしていた全軟連泉支部も少年野球の審判について出来るだけ、スポ少独自で審判を行って欲しいとの要望もありました。スポ少の審判費支出の面でも多額の金額を支払うこととなっております。

平成22年度より、仙台市スポーツ少年団の各種大会の審判については、次のとおりと致しますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 公認審判のグラウンドへの配置を行わず。仙台市野球協会のゴールド及び準ゴールドの審判を配置することと致します。配置された審判には日当として1,000円を支給する。

2. 大会の審判は、各チームの皆さんに従来どおり試合終了後の試合の審判を行ってまいります。勝者が主審と2塁、敗者が1・3塁の審判を行ってまいります。但し、グラウンド担当団は1～3塁の塁審をお願いします。主審は第一試合のみゴールド及び準ゴールドの審

3. 審判は、審判技術の向上と正確なジャッジを行っていただくことを目差し各チームの仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド、シルバーの審判員にて対応願います。

4. 審判の講習会は従来どおり年2回行いますが、仙台市野球協会の審判講習会においても、審判徽章（全軟連の審判徽章）を受領できるようタイアップしていきます。

5. 試合中にジャッジなどで問題があった場合は、主審、塁審の4名で協議し判定しますが、控え審判のアドバイスを受けて協議し判定を行うことも出来ます。

6. 審判の服装は、各区で定めるシャツかポロシャツ。審判徽章は、仙台市スポ少の大会のみ、全軟連の審判徽章、ゴールドの徽章、シルバーの徽章で行っても良いこととします。但し、県スポーツ少年団野球協議会のジャンボ大会などは全軟連の審判徽章のみとなりますのでご注意ください。

グラウンド担当の皆様へ

外野ネットの設置方法

1 塁側、3 塁側にホームベースより70mの位置にポイントを設置
2 塁ベースの中心より、先ほどの70mのポイントに巻き尺を置き
円を書きこの場所にネットを設置願います。
会場によっては、70mを取れない場合があります。その際は安全を
考慮しながら設置ください。

なお、ベース間、距離など、競技者必携(学童の部)でしっかり確認して
試合をさせて下さい。

